令和5年度 中村中学校の評価規準

1　国語科の目標

読むこと、書くこと、話すこと、聞くことを言語活動を通して行い、自分で読み、考え、表現することの力を育てる。

＜観点別学習状況と評価について＞

観点別学習状況	評価方法	5段階評価への統括方法
1 知識・技能	・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 発表 ・ 成果物	A 80% 以上 B 50% 以上 C 50% 未満 5 90% 以上 4 80% 以上 3 50% 以上 2 20% 以上 1 20% 未満
2 思考・判断・表現	・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 発表 ・ 成果物	
3 主体的に学習に取り組む態度	・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 発表 ・ 成果物	

＜教科の特性について＞

観点別学習状況の評価については、定期考査だけでなく、授業中の取組（授業態度、ワークシートや課題プリントの記述等）も評価の対象になります。

2　社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

＜観点別学習状況と評価について＞

観点別学習状況	評価方法	5段階評価への統括方法
1 知識・技能	・ 定期考査 ・ ワークシート ・ 提出物	A 80% 以上 B 50% 以上 C 50% 未満 5 90% 以上 4 80% 以上 3 50% 以上 2 20% 以上 1 20% 未満
2 思考・判断・表現	・ 定期考査 ・ レポート ・ 提出物	
3 主体的に学習に取り組む態度	・ レポート ・ ワークシート ・ 提出物	

＜教科の特性について＞

観点別学習状況の評価については、定期考査だけでなく、授業中の取組（授業態度、ワークシートや課題プリントの記述等）も評価の対象になります。

3　数学科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

＜観点別学習状況と評価について＞

<table>
<tr><th>観点別学習状況</th><th>評価方法</th><th colspan="2">5段階評価への統括方法</th></tr>
<tr><td>1 知識・技能</td><td>・ 定期考査
・ 小テスト
・ 課題の提出</td><td rowspan="3">A 80% 以上
B 50% 以上
C 50% 未満</td><td>5 90% 以上
4 80% 以上
3 50% 以上
2 20% 以上
1 20% 未満</td></tr>
<tr><td>2 思考・判断・表現</td><td>・ 定期考査
・ 小テスト
・ 課題の提出</td></tr>
<tr><td>3 主体的に学習に取り組む態度</td><td>・ 定期考査
・ 小テスト
・ 課題の提出</td></tr>
</table>

＜教科の特性について＞

観点別学習状況の評価については、定期考査だけではなく、授業中の取組（授業態度、小テスト、問題集などの提出物）も評価の対象になります。

4　理科の目標

自然の事物・現象にかかわり、理科の見方・考え方をはたらかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

＜観点別学習状況と評価について＞

<table>
<tr><th>観点別学習状況</th><th>評価方法</th><th colspan="2">5段階評価への統括方法</th></tr>
<tr><td>1 知識・技能</td><td>・ 定期考査
・ 課題の提出
・ 実験レポート
・ (実技テスト)</td><td rowspan="3">A 80% 以上
B 50% 以上
C 50% 未満</td><td>5 90% 以上
4 80% 以上
3 50% 以上
2 20% 以上
1 20% 未満</td></tr>
<tr><td>2 思考・判断・表現</td><td>・ 定期考査
・ 課題の提出
・ 実験レポート</td></tr>
<tr><td>3 主体的に学習に取り組む態度</td><td>・ 定期考査
・ 課題の提出
・ 実験レポート</td></tr>
</table>

＜教科の特性について＞

定期テストだけでなく、実験、観察の取り組みや実験レポートの提出、記述内容も評価に大きく影響します。実験の考察を考えるときのポイントは、授業中に説明している場合が多いです。聞き逃さないようにしましょう。また、授業や実験や観察に取り組みながら、「なぜそうなるのか？」を考えるようにすると良いでしょう。

5　音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

① 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

② 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

③ 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

＜観点別学習状況と評価について＞

観点別学習状況	評価方法	5段階評価への統括方法
1 知識・技能	・ 授業の取組 ・ ワークシート ・ 実技 ・ 定期考査	5 90% 以上 A 80% 以上　4 80% 以上 B 50% 以上　3 50% 以上 C 50% 未満　2 20% 以上 1 20% 未満
2 思考・判断・表現	・ ワークシート ・ 定期考査	
3 主体的に学習に取り組む態度	・ 授業の取組 ・ ワークシート ・ 実技	

＜教科の特性について＞

実技教科なので実技に重きを置いています。日々の授業を大切にしてください。音楽から自分が感じたことや、「こんなふうに表現したい」という思いを言葉で表現できることも大切です。

6　美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成する。

① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

② 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

③ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

＜観点別学習状況と評価について＞

観点別学習状況	評価方法	5段階評価への統括方法
1 知識・技能	・ 作品 ・ 小テスト ・ 定期考査 ・ ワークシート	5 90% 以上 A 80% 以上　4 80% 以上 B 50% 以上　3 50% 以上 C 50% 未満　2 20% 以上 1 20% 未満
2 思考・判断・表現	・ 作品 ・ 小テスト ・ 定期考査 ・ ワークシート	
3 主体的に学習に取り組む態度	・ ワークシート ・ レポート	

＜教科の特性について＞

作品制作の活動が多いです。また、作品の鑑賞活動では、目で見て判断できる事実についてのみ述べるのではなく、そこから自分が何を感じ取ったのかを言語化できるようにすることも大切です。限られた時間の中でよりよいものが作れるよう計画的に制作すること。

7　保健体育科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。

＜観点別学習状況と評価について＞

<table>
<tr><th>観点別学習状況</th><th>評価方法</th><th colspan="2">5段階評価への統括方法</th></tr>
<tr><td>1 知識・技能</td><td>・ 実技テスト
・ 記録
・ 授業観察
・ 定期考査</td><td rowspan="3">A 80% 以上
B 50% 以上
C 50% 未満</td><td>5 90% 以上
4 80% 以上
3 50% 以上
2 20% 以上
1 20% 未満</td></tr>
<tr><td>2 思考・判断・表現</td><td>・ 学習カード
・ 授業観察
・ 定期考査</td></tr>
<tr><td>3 主体的に学習に取り組む態度</td><td>・ 授業態度
・ 学習カード</td></tr>
</table>

＜教科の特性について＞

技能以外の観点別学習状況の評価には、定期考査だけではなく、授業態度・授業への取り組みも評価の対象です。日々の授業を大切にしてください。

8　技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ。生活や技術に関する実践的・体験的活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育成する。

＜観点別学習状況と評価について＞

<table>
<tr><th>観点別学習状況</th><th>評価方法</th><th colspan="2">5段階評価への統括方法</th></tr>
<tr><td>1 知識・技能</td><td>・ 定期考査
・ 実技
・ ワークシート</td><td rowspan="3">A 80% 以上
B 50% 以上
C 50% 未満</td><td>5 90% 以上
4 80% 以上
3 50% 以上
2 20% 以上
1 20% 未満</td></tr>
<tr><td>2 思考・判断・表現</td><td>・ 定期考査
・ 実習観察
・ ワークシート
・ ポートフォリオ</td></tr>
<tr><td>3 主体的に学習に取り組む態度</td><td>・ 定期考査
・ 授業観察
・ ワークシート
・ ポートフォリオ</td></tr>
</table>

＜教科の特性について＞

技能以外の観点別学習状況の評価には、定期考査だけではなく、授業への取り組み・ポートフォリオも評価の対象です。

9　英語科の目標

外国語を通じて，言語や文化に対する理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り，聞くことや話すことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

＜観点別学習状況と評価について＞

<table>
<tr><th>観点別学習状況</th><th>評価方法</th><th colspan="2">5段階評価への統括方法</th></tr>
<tr><td>1 知識・技能</td><td>・ 定期考査
・ 単元テスト
・ パフォーマンステスト</td><td rowspan="3">A 80% 以上
B 50% 以上
C 50% 未満</td><td rowspan="3">5 90% 以上
4 80% 以上
3 50% 以上
2 20% 以上
1 20% 未満</td></tr>
<tr><td>2 思考・判断・表現</td><td>・ 定期考査
・ 単元テスト
・ パフォーマンステスト</td></tr>
<tr><td>3 主体的に学習に取り組む態度</td><td>・ パフォーマンステスト
・ ワークシート</td></tr>
</table>

＜教科の特性について＞

言語教科の特性からコミュニケーション活動を重視しています。日々の英語を用いたコミュニケーション活動などを大切にしてください。